

こども園・ひかりのこ さっぽろ 自己評価集計結果 (前期)

評価は、3段階です → A・・・できた B・・・少しはできた C・・・まだできていない

📎教育・保育課程

		A	B	C
1	認定こども園保育・教育要領の内容に沿った乳幼児の発達に即した指導をしている。	2	7	0
		22%	78%	0%
2	園の教育・保育課程の編成、実施の考え方について理解している。	4	4	1
		44%	44%	11%
3	園の教育・保育課程に基づいて、指導計画や日案などの作成をしている。	3	5	1
		33%	56%	11%
4	園の教育・保育課程に基づいて、遊具・用具を活用している。	3	5	1
		33%	56%	11%
5	園の理念や目標の下に園行事を実施している。	5	3	1
		56%	33%	11%

📎乳幼児教育

		A	B	C
1	乳幼児に適した環境を意識し、学級運営をしている。	1	8	0
		11%	89%	0%
2	環境を通して行う、こども園教育を実施している。	0	6	3
		0%	67%	33%
3	乳幼児との信頼関係が構築されている。	5	4	0
		56%	44%	0%
4	乳幼児の主体的な活動が尊重されている。	0	6	3
		0%	67%	33%
5	遊びを通じた総合的な指導が適切に行われている。	0	5	4
		0%	56%	44%

📎保健管理

		A	B	C
1	家庭と連携し、一人一人の健康管理に努めている。	6	3	0
		67%	34%	0%
2	日常の健康観察や、疾病予防の為の取り組みを適切に行っている。	6	2	1
		67%	22%	11%

安全管理

		A	B	C
1	事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、日々の保育・教育にあたっている。	4	5	0
		44%	56%	0%
2	危機管理マニュアルを活用し、対応している。	3	6	0
		33%	67%	0%
3	安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上を図るための取り組みを行っている。	1	7	1
		11%	78%	11%

特別支援教育

		A	B	C
1	特別な支援を必要とする乳幼児について、個別の教育支援を計画し、実施している。	1	7	1
		11%	78%	11%
2	特別な支援を必要とする乳幼児について、家庭及び医療や福祉などの関係機関との連携を適切に図っている。	1	7	1
		11%	78%	11%

情報提供

		A	B	C
1	園児の個人情報を保護している。	9	0	0
		100%	0%	0%
2	クラス便りなど、保護者を対象とした情報の公開に適切な工夫がなされている。	6	3	0
		67%	33%	0%

保護者・地域との連携 子育て支援

		A	B	C
1	保護者から寄せられた具体的な意見や要望を把握し、適切に対応している。	4	4	1
		44%	44%	11%
2	保護者との連絡の充実を図っている。	1	8	0
		11%	89%	0%
3	保護者懇談会の内容の充実を図っている。	0	3	6
		0%	33%	67%
4	カウンセリングの基礎を理解し、保護者の相談に対応している。	0	7	2
		0%	78%	22%
5	地域との協力を意識し、保育・教育にあたっている。	0	5	4
		0%	56%	44%

✎教育環境整備

		A	B	C
1	学習・生活環境の充実の為に、遊具・用具・玩具・図書などを整備している。	0	6	3
		0%	67%	33%
2	施設・設備の安全・維持管理の為に点検に取り組んでいる。	0	6	3
		0%	67%	33%

✎組織運営

		A	B	C
1	クラスリーダーは適切にリーダーシップを発揮し、他の職員から信頼を得ている。	0	5	4
		0%	56%	44%
2	明確な方針を示し、それに基づいて学級運営ができるよう指導している。	1	6	2
		11%	65%	22%
3	保育教諭の保育・教育状況を的確に把握すると共に、適切な指導・助言を行っている。	0	5	4
		0%	56%	44%

✎その他

		A	B	C
1	雑用と言われるような仕事も率先して行っている。	3	5	1
		33%	56%	11%
2	決められた係の仕事をしっかり行っている。	5	3	1
		56%	33%	11%
3	電話・来客者への対応をしっかりとしている。	6	3	0
		67%	33%	0%
4	実習性に対して丁寧な指導、思いやりのある対応を心がけている。	5	3	1
		56%	33%	11%
5	提出物の期日を守れている。	0	7	2
		0%	78%	22%
6	園内の整理整頓・美化に努めている。	1	6	2
		11%	67%	22%

<課題点・改善案>

- クラス間での『報、連、相』をより大切にしていきたい。特に、コロナウイルスの影響もあり、例年とは違う部分も多く、これまで以上に職員間でのコミュニケーションの大切さを感じた。
- 若い先生方も一生懸命保育活動を工夫して頑張ってくれている。後輩の指導について、自身ももっと、成長発達への知識を得て、日々学ぶ気持ちを持ちながら、自信を持って指導できるようにしたい。
- 心の余裕を持ちながら、のびのび生活できる環境をつくりたい。
- コロナウイルスにより、今までの生活や行事の方法を見直す事が必要になったが、これにより、新しい保育の形、行事の取り組み方を見つける事もできたので、これまでの方法に取り入れながら、更に良いものにしていきたい。
- クラスの保育教育内容について、取り組みをもっと広げられるよう、1度の活動で終わるのではなく、多方面につなげ、より興味を広げていきたい。
- もっと子ども自身のやってみたい気持ちを引き出したり、持っている力を発揮できるよう子どもたちにも目に見える形で振り返りを行うなど工夫の余地があった。
- 書類関係が、後回しになりがちなので、計画性を持って取り組みたい。
- 懇談会など、保護者と集まる機会がなくなった分、もっと意識して、日頃の様子をお伝えできればよかった。

令和2年度

こども園・ひかりのこ さっぽろ 自己評価集計結果（前期）

評価は、3段階です → A・・・できた B・・・少しはできた C・・・まだできていない

📎教育・保育課程

		A	B	C
1	認定こども園保育・教育要領の内容に沿った乳幼児の発達に即した指導をしている。	1	7	3
		9%	64%	27%
2	園の教育・保育課程の編成、実施の考え方について理解している。	0	8	3
		0%	73%	27%
3	園の教育・保育課程に基づいて、指導計画や日案などの作成をしている。	3	6	2
		27%	55%	18%
4	園の教育・保育課程に基づいて、遊具・用具を活用している。	2	6	3
		18%	55%	27%
5	園の理念や目標の下に園行事を実施している。	6	3	2
		55%	27%	18%

📎乳幼児教育

		A	B	C
1	乳幼児に適した環境を意識し、学級運営をしている。	4	4	3
		36%	36%	27%
2	環境を通して行う、こども園教育を実施している。	3	4	4
		27%	36%	36%
3	乳幼児との信頼関係が構築されている。	3	7	1
		27%	64%	9%
4	乳幼児の主体的な活動が尊重されている。	3	5	3
		27%	45%	27%
5	遊びを通じた総合的な指導が適切に行われている。	1	4	6
		9%	36%	55%

📎保健管理

		A	B	C
1	家庭と連携し、一人一人の健康管理に努めている。	6	5	0
		55%	45%	0%
2	日常の健康観察や、疾病予防の為の取り組みを適切に行っている。	5	6	0
		45%	55%	0%

安全管理

		A	B	C
1	事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、日々の保育・教育にあたっている。	2	8	1
		18%	73%	9%
2	危機管理マニュアルを活用し、対応している。	2	4	5
		18%	36%	45%
3	安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上を図るための取り組みを行っている。	2	5	4
		18%	45%	36%

特別支援教育

		A	B	C
1	特別な支援を必要とする乳幼児について、個別の教育支援を計画し、実施している。	1	4	6
		9%	36%	55%
2	特別な支援を必要とする乳幼児について、家庭及び医療や福祉などの関係機関との連携を適切に図っている。	1	3	7
		9%	27%	64%

情報提供

		A	B	C
1	園児の個人情報を守っている。	11	0	0
		100%	0%	0%
2	クラス便りなど、保護者を対象とした情報の公開に適切な工夫がなされている。	6	5	0
		55%	45%	0%

保護者・地域との連携 子育て支援

		A	B	C
1	保護者から寄せられた具体的な意見や要望を把握し、適切に対応している。	2	5	4
		18%	45%	36%
2	保護者との連絡の充実を図っている。	2	8	1
		18%	73%	9%
3	保護者懇談会の内容の充実を図っている。	0	1	10
		0%	9%	91%
4	カウンセリングの基礎を理解し、保護者の相談に対応している。	0	6	5
		0%	55%	45%
5	地域との協力を意識し、保育・教育にあたっている。	0	5	6
		0%	45%	55%

📎教育環境整備

		A	B	C
1	学習・生活環境の充実の為に、遊具・用具・玩具・図書などを整備している。	4	4	3
		36%	36%	27%
2	施設・設備の安全・維持管理の為に点検に取り組んでいる。	3	6	2
		27%	55%	18%

📎その他

		A	B	C
1	雑用と言われるような仕事も率先して行っている。	5	6	0
		45%	55%	0%
2	決められた係の仕事をしっかり行っている。	8	3	0
		73%	27%	0%
3	電話・来客者への対応をしっかりとしている。	4	7	0
		36%	64%	0%
4	実習性に対して丁寧な指導、思いやりのある対応を心がけている。	5	6	0
		45%	55%	0%
5	提出物の期日を守れている。	7	4	0
		64%	36%	0%
6	園内の整理整頓・美化に努めている。	1	10	0
		9%	91%	0%

<課題点・改善案>

- ・抱え込まず、自分から相談したり、小さなことでも伝え合う習慣をつけたい。
- ・自分の仕事だけではなく、クラスの一員、園の一員として、もっと周りに目を向けて仕事を行えるようになりたい。
- ・力不足ではあるが、後輩にももっと、伝えられることがあったかもしれない。
- ・普段の言葉遣いや、環境整備にまで、意識が届かなかったので、気をつけたい。
- ・コロナウイルスで思うような活動は出来なかったが、学びも大きかった。
- ・先輩の保育を見て、子どもの心に寄り添う保育を学びたい。
- ・連絡帳など間接的な方法だけでなく、保護者の方々とのコミュニケーションをもっとこちらから働きかけていきたい。その際、伝え方や言葉の使い方も工夫し、より、園での姿を伝えられるようになりたい。少しずつ、信頼関係も気づけるようにする。
- ・目安にとらわれず、もっとその子自身の育ちを見つめた活動展開を意識したい。
- ・活動を進める際、注意や気をつける事ばかり伝えてしまいがちなので、もっと、子ども興味を引き付けられるような工夫を探る必要がある。
- ・活動のねらいをより理解し、保育に取り組みたい。
- ・子どもが主体的に活動することへの学びがまだ足りない。
- ・避難訓練時だけでなく、普段から危機感を持ち、マニュアルも見直したい。

こども園・ひかりのこ さっぽろ 自己評価集計結果（後期）

評価は、3段階です → A・・・できた B・・・少しはできた C・・・まだできていない

📎教育・保育課程

		A	B	C
1	認定こども園保育・教育要領の内容に沿った乳幼児の発達に即した指導をしている。	1	10	0
		9.1%	90.9%	0%
2	園の教育・保育課程の編成、実施の考え方について理解している。	4	7	0
		36.4%	63.6%	0%
3	園の教育・保育課程に基づいて、指導計画や日案などの作成をしている。	3	8	0
		27.3%	72.7%	0%
4	園の教育・保育課程に基づいて、遊具・用具を活用している。	4	7	0
		36.4%	63.6%	0%
5	園の理念や目標の下に園行事を実施している。	6	5	0
		54.5%	45.5%	0%

📎乳幼児教育

		A	B	C
1	乳幼児に適した環境を意識し、学級運営をしている。	3	8	0
		27.3%	72.7%	0%
2	環境を通して行う、こども園教育を実施している。	2	9	0
		18.2%	81.8%	0%
3	乳幼児との信頼関係が構築されている。	8	2	1
		72.7%	18.2%	9.1%
4	乳幼児の主体的な活動が尊重されている。	1	10	0
		9.1%	90.9%	0%
5	遊びを通じた総合的な指導が適切に行われている。	2	9	0
		18.2%	81.8%	0%

📎保健管理

		A	B	C
1	家庭と連携し、一人一人の健康管理に努めている。	7	4	0
		63.6%	36.4%	0%
2	日常の健康観察や、疾病予防の為の取り組みを適切に行っている。	7	4	0
		63.6%	36.4%	0%

安全管理

		A	B	C
1	事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、日々の保育・教育にあたっている。	4	7	0
		36.4%	63.6%	0%
2	危機管理マニュアルを活用し、対応している。	3	6	2
		27.3%	54.5%	18.2%
3	安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上を図るための取り組みを行っている。	3	6	2
		27.3%	54.5%	18.2%

特別支援教育

		A	B	C
1	特別な支援を必要とする乳幼児について、個別の教育支援を計画し、実施している。	3	7	1
		27.3%	63.6%	9.1%
2	特別な支援を必要とする乳幼児について、家庭及び医療や福祉などの関係機関との連携を適切に図っている。	3	7	1
		27.3%	63.6%	9.1%

情報提供

		A	B	C
1	園児の個人情報を保護している。	11	0	0
		100%	0%	0%
2	クラス便りなど、保護者を対象とした情報の公開に適切な工夫がなされている。	8	3	0
		72.7%	27.3%	0%

保護者・地域との連携 子育て支援

		A	B	C
1	保護者から寄せられた具体的な意見や要望を把握し、適切に対応している。	3	8	0
		27.3%	72.7%	0%
2	保護者との連絡の充実を図っている。	3	8	0
		27.3%	72.7%	0%
3	保護者懇談会の内容の充実を図っている。	4	6	1
		36.4%	54.5%	9.1%
4	カウンセリングの基礎を理解し、保護者の相談に対応している。	3	6	2
		27.3%	54.5%	18.2%
5	地域との協力を意識し、保育・教育にあたっている。	1	6	4
		9.1%	54.5%	36.4%

✎教育環境整備

		A	B	C
1	学習・生活環境の充実の為に、遊具・用具・玩具・図書などを整備している。	4	5	2
		36.4%	45.5%	18.2%
2	施設・設備の安全・維持管理の為に点検に取り組んでいる。	2	6	3
		18.2%	54.5%	27.3%

✎組織運営

		A	B	C
1	クラスリーダーは適切にリーダーシップを発揮し、他の職員から信頼を得ている。	0	8	3
		0%	72.7%	27.3%
2	明確な方針を示し、それに基づいて学級運営ができるよう指導している。	1	6	4
		9.1%	54.5%	36.4%
3	保育教諭の保育・教育状況を的確に把握すると共に、適切な指導・助言を行っている。	2	5	4
		18.2%	45.5%	36.4%

✎その他

		A	B	C
1	雑用と言われるような仕事も率先して行っている。	3	7	1
		27.3%	63.6%	9.1%
2	決められた係の仕事をしっかり行っている。	5	5	1
		45.5%	45.5%	9.1%
3	電話・来客者への対応をしっかりとしている。	4	7	0
		36.4%	63.6%	0%
4	実習性に対して丁寧な指導、思いやりのある対応を心がけている。	5	4	2
		45.5%	36.4%	18.2%
5	提出物の期日を守れている。	1	7	3
		9.1%	63.6%	27.3%
6	園内の整理整頓・美化に努めている。	4	5	2
		36.4%	45.5%	18.2%

<課題点・改善案>

- 送迎時に会えない保護者も多かったが、連絡ノートなどで少しでも信頼関係を築けるよう心掛けていきたい。
- 今までには実際に様子を見てもらえる機会があったが、コロナ禍でそれが出来なくなり、口頭や文章で、いかに伝えられるか、試行錯誤しながらのコミュニケーションとなった。
- 忙しさから、十分に課題と向き合うことが出来なかった場面もあったので、一つひとつの仕事の優先順位を考え、余裕をもって取り組めるようにしていきたい。
- クラス運営として、保育教諭一人ひとりが得意分野を發揮しながら活動を行えたことが良かった。
- 職員間でのコミュニケーションの回り方として、意図しない伝わり方をしてしまうこともあったので、話し方や、共有すべき内容を精査しながら、より良い関係を築いていきたい。
- まだ経験の浅い保育教諭に対し、助言すべき点と見守るべき点の判断が難しいが、年齢や経験にとらわれすぎず、アイデアを取り入れながら、自分自身も学んでいきたい。
- 活動を行う中で、連続性を意識して保育活動を行い、子どもの総合的な発達をもっと促せる関わりが出来たら良かった。
- 自身の担当クラスはもちろん、幼児・乳児と、全体を把握しながら、メリハリのある声掛け、保育を実践できれば、より良かった。
- 避難訓練では、実施確認だけでなく、改めてマニュアルを確認するよう意識できれば、より実りのあるものになると感じている。
- キャリアアップ研修を通し、幼児教育の土台となるものを学び直すことが出来たので、日々の保育にも還元していきたい。
- コロナ禍にあり、多くの行事の変更・中止を迫られたが、その分、行事の在り方を深く再考する機会となり、より良く、現状に合った開催を話し合うことが出来たのは、大きな経験となった。
- コロナ禍であることを考慮しつつ、相談しながらより良い保育が出来るよう工夫しながら過ごしてきた。担当間で意見を出し合いながらクラス運営出来たことが良かった。
- これまで出来ていた地域交流が、コロナ禍で薄れてしまっているように感じるので、今できる事を意識して行っていきたい。
- 上半期に比べ、コロナ対策を強化することが出来た。また、これを実施するに当たり、職員間でしっかり連携できたので、今後も感染対策を怠らずに行っていきたい。
- 整理整頓や期限厳守など、当たり前の事をしっかりと行い、後輩の手本となっていきたい。

令和2年度

こども園・ひかりのこ さっぽろ 自己評価集計結果（後期）

評価は、3段階です → A・・・できた B・・・少しはできた C・・・まだできていない

📎教育・保育課程

		A	B	C
1	認定こども園保育・教育要領の内容に沿った乳幼児の発達に即した指導をしている。	0	5	4
		0%	55.6%	44.4%
2	園の教育・保育課程の編成、実施の考え方について理解している。	0	8	1
		0%	88.9%	11.1%
3	園の教育・保育課程に基づいて、指導計画や日案などの作成をしている。	2	5	2
		22.2%	55.6%	22.2%
4	園の教育・保育課程に基づいて、遊具・用具を活用している。	0	8	1
		0%	88.9%	11.1%
5	園の理念や目標の下に園行事を実施している。	1	7	1
		11.1%	77.8%	11.1%

📎乳幼児教育

		A	B	C
1	乳幼児に適した環境を意識し、学級運営をしている。	1	6	2
		11.1%	66.7%	22.2%
2	環境を通して行う、こども園教育を実施している。	0	6	3
		0%	66.7%	33.3%
3	乳幼児との信頼関係が構築されている。	1	8	0
		11.1%	88.9%	0%
4	乳幼児の主体的な活動が尊重されている。	1	4	4
		11.1%	44.4%	44.4%
5	遊びを通じた総合的な指導が適切に行われている。	2	5	2
		22.2%	55.6%	22.2%

📎保健管理

		A	B	C
1	家庭と連携し、一人一人の健康管理に努めている。	2	7	0
		22.2%	77.8%	0%
2	日常の健康観察や、疾病予防の為の取り組みを適切に行っている。	3	6	0
		33.3%	66.7%	0%

安全管理

		A	B	C
1	事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、日々の保育・教育にあたっている。	1	5	3
		11.1%	55.6%	33.3%
2	危機管理マニュアルを活用し、対応している。	0	3	6
		0%	33.3%	66.7%
3	安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上を図るための取り組みを行っている。	0	6	3
		0%	66.7%	33.3%

特別支援教育

		A	B	C
1	特別な支援を必要とする乳幼児について、個別の教育支援を計画し、実施している。	0	5	4
		0%	55.6%	44.4%
2	特別な支援を必要とする乳幼児について、家庭及び医療や福祉などの関係機関との連携を適切に図っている。	0	3	6
		0%	33.3%	66.7%

情報提供

		A	B	C
1	園児の個人情報を保護している。	7	2	0
		77.8%	22.2%	0%
2	クラス便りなど、保護者を対象とした情報の公開に適切な工夫がなされている。	1	8	0
		11.1%	88.9%	0%

保護者・地域との連携 子育て支援

		A	B	C
1	保護者から寄せられた具体的な意見や要望を把握し、適切に対応している。	1	6	2
		11.1%	66.7%	22.2%
2	保護者との連絡の充実を図っている。	1	7	1
		11.1%	77.8%	11.1%
3	保護者懇談会の内容の充実を図っている。	0	4	5
		0%	44.4%	55.6%
4	カウンセリングの基礎を理解し、保護者の相談に対応している。	0	5	4
		0%	55.6%	44.4%
5	地域との協力を意識し、保育・教育にあたっている。	0	3	6
		0%	33.3%	66.7%

✎教育環境整備

		A	B	C
1	学習・生活環境の充実の為に、遊具・用具・玩具・図書などを整備している。	1	8	0
		11.1%	88.9%	0%
2	施設・設備の安全・維持管理の為に点検に取り組んでいる。	1	6	2
		11.1%	66.7%	22.2%

✎その他

		A	B	C
1	雑用と言われるような仕事も率先して行っている。	3	6	0
		33.3%	66.7%	0%
2	決められた係の仕事をしっかり行っている。	5	4	0
		55.6%	44.4%	0%
3	電話・来客者への対応をしっかりとしている。	3	5	1
		33.3%	55.6%	11.1%
4	実習性に対して丁寧な指導、思いやりのある対応を心がけている。	4	5	0
		44.4%	55.6%	0%
5	提出物の期日を守れている。	4	5	0
		44.4%	55.6%	0%
6	園内の整理整頓・美化に努めている。	2	7	0
		22.2%	77.8%	0%

<課題点・改善案>

- 一人ひとりの個性、発達には違いも大きく、寄り添いたい気持ちと裏腹に、知識が追いつかない場面もあり、より一層学びを深めたいと思った。
- 子どもたちへの言葉の掛け方に悩むことが多く、その子一人ひとりに伝わる、理解できるような伝え方を研究していきたい。
- コロナ禍にあり、例年と違う事も多くなったが、その分、打合せや、日々の声の掛け合い、相談がこれまでよりも充実した。
- コロナ禍により、発表会が配信となり、どう、子どもたちの頑張りを伝えられるか悩んだが、出来る限りの方法で伝えられたと思う。
- やってみたい活動も考えられるようになり、積極的に取り入れられた。しかし、まだまだ勉強不足な面もあり、先輩方にアドバイスを頂きながら素直に学んでいきたい。
- 先輩方のアイデアや保育に頼りすぎてしまったと反省。自分で出来る事はしっかりと行っていきたい。
- 自身の危機感や判断力の未熟さを感じる1年となった。子どもたちののびのびとした自己主張を受け止めつつも、ケガの無いよう気をつけていきたい。
- 自身の不甲斐なさやもどかしさも感じたが、日々の仕事の中で保育、教育の本質を学ぶことが出来ているので、学ぶ姿勢を忘れず、今後に活かしていきたい。
- 子どもの発達に合った玩具選びが難しかった。
- 担当クラス外に入った際のトラブル対応が上手く出来なかった。もっと周りを見たり、信頼関係を築いて行きたい。
- 保護者の方々との会話で、一方的に話してしまうことが多くなってしまった。もっと会話のキャッチボールが出来るようコミュニケーションを図っていきたい。
- 係の仕事も、経験を重ねるにつれ、やり方や連携を工夫する事が出来た。やりがいを感じている。
- 日々、職場の中で支えられている事を実感する1年となった。報連相を心掛け、自身も一員として働いていきたい。